

日医発第 1925 号(健Ⅱ)

令和 6 年 1 月 3 0 日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事

渡 辺 弘 司

濱 口 欣 也

(公印省略)

新生児聴覚検査の実施について (情報提供)

「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正については、令和 5 年 10 月 6 日付日医発第 1232 号(健Ⅱ)にて貴会宛ご連絡申し上げております。

本通知において、新生児聴覚検査の確認検査でリファー(再検査)になった場合、生後 21 日以内に先天性サイトメガロウイルス感染症の検査を実施することが推奨されていることから、今般、日本医療研究開発機構(AMED)成育疾患克服等総合研究事業の研究班において、新生児聴覚検査でリファー(要再検)となった児の保護者向けリーフレットが作成され、こども家庭庁より本会に対して情報提供がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会および関係医療機関への周知方、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

- ・保護者向けリーフレット「新生児聴覚検査でリファーの場合は先天性 CMV 感染の検査を受けましょう」

[http://cmvtox.umin.jp/\\_assets/pdf/cmv\\_flyer\\_20240109.pdf](http://cmvtox.umin.jp/_assets/pdf/cmv_flyer_20240109.pdf)

(掲載先 <http://cmvtox.umin.jp/download/>)

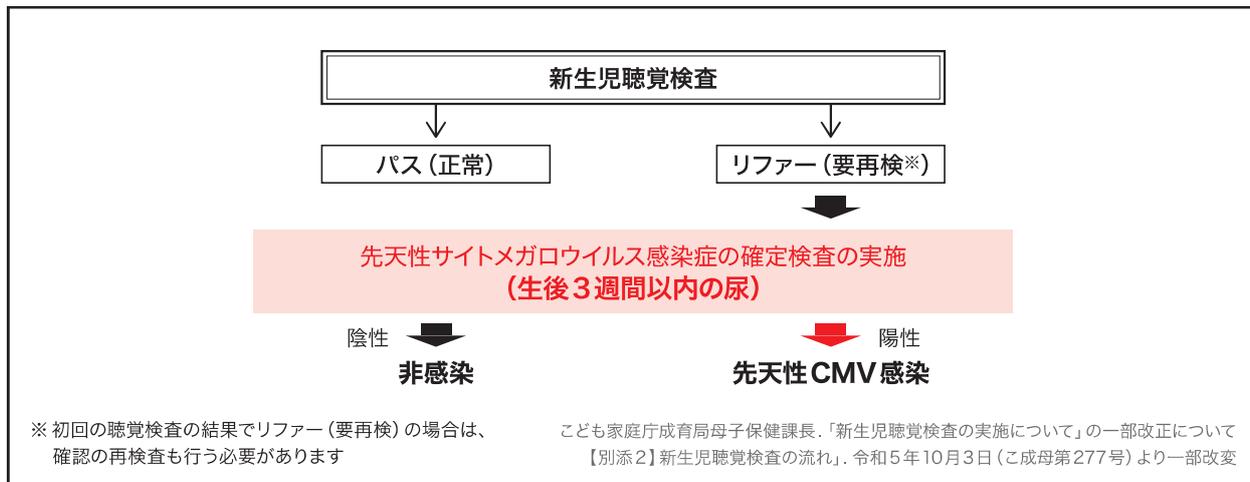
# 新生児聴覚検査でリファー（要再検）の場合は 先天性サイトメガロウイルス感染の検査を 受けましょう

## 新生児難聴の主な原因のひとつに、先天性サイトメガロウイルス感染があります

妊娠中のお母さんがサイトメガロウイルス（CMV）に感染すると、赤ちゃんが何らかの障がいを持って生まれてくる場合があります。その障がいのひとつに「難聴」があります。出生時の聴力障害の原因として、遺伝性の次に多いと考えられているのが先天性CMV感染によるものです。聴力障害があるかどうかは、聴力の精密検査を受けなければわかりません。

## 新生児聴覚検査でリファー（要再検）の場合は、聴力の精密検査の前に 先天性CMV感染の確定検査の実施が強く推奨されています\*

CMV感染の検査は、生後3週間以内に赤ちゃんの尿を採取することで診断します。生後3週間を超えると、先天性感染と後天性感染の区別が困難となるため、なるべく早く実施することが望まれます。



\*日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業-BIRTHDAY 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症を対象としたバルガンシクロピル治療の開発研究班（編）  
「先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023」、診断と治療社、東京、2023年10月

## 先天性CMV感染だった場合、 抗ウイルス薬治療という選択肢があります

赤ちゃんの体内でCMVが増殖するのを抑える抗ウイルス薬バルガンシクロピル（バリキサ®）を服用することで、難聴の改善や進行の抑制などの効果が期待できます。一方、白血球（好中球）減少などの副作用もあります。保険診療で行える治療ですので、小児科の主治医と相談のうえ進めてください。



バルガンシクロピル（バリキサ®）は  
注射器のようなディスペンサーを用いて、1日2回、  
赤ちゃんに飲ませるドライシロップ剤のお薬です